

令和6年度版「小学どうとく 生きる力」年間指導計画案3年

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	評価の視点 (具体的な見取りのポイント)	他教科等との関連	
4月	1	いのちのまつり ヌチヌグスージ	D 生命の尊さ	わたしの命	自分の生命は多くの先祖から引き継がれてきたものであり、自分一人のものではないことを知り、生命を大切にしようとする心情を育てる。	○命は誰のものなのでしょうか。 ○コウちゃんが「ぼくのいのちってすごいんだね。」と言っていますが、どういうところがすごいのでしょうか。 ○オバアたちは、どんな思いで、お祭りをしているのでしょうか。 ○コウちゃんは、空に向かって手を振りながら、心の中でどんなことを言っているのでしょうか。 ○命は自分だけのものなのでしょうか。 ○教師自身の祖父母の話聞かせる。	☆命のつながりから命の尊さを考えようとしているか。(道徳ノート・発言) ☆自分の命もまた、多くのつながりによってあることを考え、大切にしようとする思いを深めているか。(道徳ノート)	
	2	もっと調べたから	A 節度、節制	心のアクセルとブレーキ	心のアクセルは簡単だが、ブレーキを掛けるのは難しく、だからこそ、先を見通して考えることが大切であることを理解し、節度ある生活をしようとする態度を育てる。	○夢中になって活動しているうちに、時間を忘れてしまったことがありますか。 ○前田先生に「ぼくたちは、……。」と答えてほしいの思いを教えてください。 ○だいたいに不足していたのは、どんな気持ちや考えだったのでしょうか。その理由も教えてください。 ○このようにならないために、だいきが大切にしなければいけないのは、どのような考えでしょうか。 ○あなたは、心のアクセルとブレーキを上手に使うために、どんなことに気をつけようと思いますか。 ○教師が、つい時間を忘れて没頭してしまい、急いで、事故に遭いそうになった話をする。	☆安全に生活するには、見通しをもつことや周りへの配慮など、よく考えて行動することの大切さについて考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆アクセルは簡単だが、ブレーキを掛けるのは難しく、だからこそ具体的にこのようにしていきたいということが書かれているか。(道徳ノート)	社会 特活 (学級活動)
	3	やさしさのバトン	B 親切、思いやり	思いやりが つながる	思いやりの心は、バトンのようにつながり、相手を笑顔にするだけでなく、自分自身も周りの人も笑顔にできていくことに気づき、進んで親切にしようとする心情を育てる。	○「やさしさのバトン」とは、どのようなものだと思いますか。 ○最初に声を掛けた女の子は、どんな思いで山崎さんに声を掛けたのでしょうか。 ○当たり前のごととして引き継いだ子どもたちは、どんな思いで自ら声を掛けたのでしょうか。 ○最初は不安だったのに、バスに乗るのが楽しみになった山崎さんの思いを教えてください。 ○このお話で、笑顔になった人は誰でしょうか。笑顔になった人の気持ちを教えてください。 ○自分たちの周りで、「やさしさのバトン」につながることは何でしょうか。 ○親切な行為を見た教師の思いを話す。	☆思いやりの心は、みんなを笑顔にし、次から次へとバトンのように広がっていくことについて考えているか。(道徳ノート・発言) ☆自分の経験を振り返り、思いやりの心がつながっていたことを思い出し、自分もまた進んで親切にしようとする意欲を高めているか。(道徳ノート・発言)	
5月	4	気づいていなかったこと	B 礼儀	おたがいに 気持ちよく	礼儀は相手に真心を届けるものであり、相手に対する感謝や思いやりの心などの真心をもって接することが気持ちよい生活になることを理解し、礼儀正しく接しようとする意欲を育てる。	○身の回りには、どんな礼儀があるのでしょうか。 ○イラストを見て話し合いながら、「気づいていなかったこと」を考えよう。 ○それぞれの場面を実際にやってみて、どんなことを感じるか話し合ってみよう。 ○それぞれの場面で、気づいていなかったことは、どんなことでしょうか。 ○礼儀正しい行いが大切なのは、何でしょうか。 ○教師自身が気持ちよい礼儀に出合った経験をお話す。	☆いろいろな場面で見られる「気づいていなかったこと」をしっかりと考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆相手の立場や気持ちに応じて、真心をもって礼儀正しく接しようとする気持ちを高めているか。(道徳ノート・発言)	
	5	きいてるかい オル タ	A 個性の伸長	よさはのばせる	自分を変えるかどうかは自分次第であると考える、自分のよさを積極的に伸ばしていこうとする態度を育てる。	○あなたが「できるようになりたいこと」は、どんなことですか。 ○先生の「みんなどんどん変わらなさい」という言葉を聞いて、「ぼく」は、どんなことを考えたのでしょうか。 ○「新しいぼく」とは、どんな「ぼく」になりたいのでしょうか。 ○胸の中で、熱いはずがポタリと落ちたとき、「ぼく」はどんなことに気づいたのでしょうか。 ○どんな自分になりたいですか。そのためには、どんな考えを大切にするといいと思いますか。 ○教師から、自分のよさを頑張っていることを聞く。	☆お互いに気持ちよく過ごすために大切にすることをしっかりと考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆相手の立場や気持ちに応じて、真心をもって礼儀正しく接しようとする気持ちを高めているか。(道徳ノート・発言) ☆苦手なことに屈みせず挑戦することの大切さを考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆よさを伸ばせることを知り、苦手なことに挑戦し、長所を伸ばしてさらに成長したいという思いをもとうとしたか。(道徳ノート)	
	6	さと子の落とし物	B 友情、信頼	友だちを 思っている	友だちとは、お互いの気持ちを理解し、困ったときには相手のために助け合える関係にあることを理解し、友達どうし互いに力を合わせ、助け合おうとする態度を育てる。	○友達が困っている場面に出合ったら、どんなことを思いますか。 ○鍵を落として困っているさと子を見て、みんなはどんなことを考えていたのでしょうか。 ○がやがやと話しをする男の子たちは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○横一列になって鍵を探してみんなは、どんなことを思っていたのでしょうか。 ○鍵が見つかったとき、みんなはどんな気持ちだったのでしょうか。 ○友達が困っているとき、助けることができたことはありますか。 ○友達のことを理解して、互いに思いやり、助け合った体験について話す。	☆困っている友達の気持ちを理解して、力を合わせ、互いに助け合おうとする大切さについて考えようとしたか。(道徳ノート) ☆友達どうし互いに力を合わせ、助け合うよさを感じたり、助け合おうとする気持ちが高まったりしているか。(発言・態度)	特活 (学級活動)
6月	7	心をしずめて	B 相互理解、寛容	相手と わかり合っている	感情的にならず、落ち着いて相手の考えを理解しようとするなどお互いに関わり合い許し合えることに気づき、互いに相手を理解し、尊重しようとする態度を育てる。	○誰かにすくく腹を立てたことはありませんか。 ○あき子が謝られても黙っていたのもみは、どんな気持ちだったのでしょうか。 ○あき子がくれた貯金箱を見ているうちに、ともみはどんな気持ちになったのでしょうか。 ○あき子の家を目指して走るとともみは、どんなことに気づいたのでしょうか。 ○相手とお互いに関わり合えたときは、どんな気持ちになるのでしょうか。 ○相手に寛容の心をもって、大切な友達と仲直りした体験や、そのときの気持ちなどを話す。	☆相手の気持ちを考えることで、心を落ち着かせて友達を許せることに気づいたか。(道徳ノート・発言) ☆相手の気持ちを考え、互いに関わり合えるよう努め、前向きに生活していこうとする気持ちに気づいたか。(発言)	特活 (学級活動)
	8	あこがれの 人	A 善悪の判断、自律、 自由と責任	弱い心に 負けない	自分がやらないといけないとわかっていることから逃げず、やるべきことをやること、弱い心に負けず自分の自信につながることを理解し、自信をもって行うための判断力を育てる。	○自分が強くなってはいけないことなのに、したくないと思うときの気持ちを考えよう。 ○クラスの友達から、「さぼっちゃいなよ。」と言われて、あけみはどのようなことを思ったのでしょうか。 ○さとみさんとの思い出を振り返りながら、あけみはどのようなことを思ったのでしょうか。 ○あけみはどんな考えから、友達の誘いを断ろうと思ったのでしょうか。 ○自分の思いが揺らいでいるときに、大切にしたい考えは何でしょうか。 ○教師が子どもの頃、正しいことをしてよかったと思った経験をお話す。	☆正しいと判断したことは自信をもって行うことのよさについて考えようとしたか。(発言) ☆自分の経験も振り返りながら、正しいことを行うことの大切さについて考えようとしたか。(道徳ノート)	音楽 社会
	9	きまりはだれの ため?	C 規則の尊重	よりよい生活の ためのきまり	きまりは危険を避けたり、みんなの楽しい生活を実現したりするためにあることを理解し、みんながしているからと少しぐらいとせず、進んできまりを守るようとするための判断力を育てる。	○みなさんの周りには、どんなきまりがありますか。そのきまりは、何のためにあるのでしょうか。 ○ようたは、1年生のときから一度も宿題を忘れたことはありません。どんな気持ちでしょうか。 ○「④」のきまりを知っているのにゲームをしているようたは、どんな気持ちでしょうか。 ○ゆうじやくみもゲームをしていることを知って、ほっとするようたに足りない考えは何でしょうか。 ○「①、②、③、④」のきまりは、誰をどんなことから守るためのきまりなのでしょうか。 ○みなさんの周りのきまりは、誰を何から守るためのきまりでしょうか。 ○今日の学習で、あなたがわかったことをまとめよう。	☆きまりは、守らなければならないもの、窮屈なものなどという考えと比較しながら、きまりが本来、人々を守るためのものであることに気づくことができたか。(発言) ☆自分の周りのきまりについて、それらも自分たちを守るためにあることに気づいたか。(道徳ノート)	総合
	10	ふるしき	C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する 態度	守りたい日本の 文化	風呂敷の実演を見て、そのよさに興味をもった「わたし」の驚きに共感し、日本の伝統や文化のよさに気づき、それらを継承し、発展させていこうとする心情を育てる。	○風呂敷を使ったことがありますか。 ○たんすを開けて風呂敷を見つけたとき、「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。 ○風呂敷で本を包んだとき、「わたし」はどんな気持ちだったのでしょうか。 ○次々といろいろな形の物を包んでいく風呂敷を見たときの、「わたし」の驚きを想像してみてください。 ○ふだんの生活の中にある、日本や自分の住んでいる地域の文化をたくさん探してみてください。 ○風呂敷を使って、実際に物を包んでみましょう。	☆風呂敷のよさに驚いた「わたし」の気持ちに共感し、昔から使われている物への関心を高めているか。(道徳ノート・発言) ☆日本や地域の「伝統や文化のよさ」を実感し、それらを大切にしていきたいという気持ちが高まっているか。(発言・態度)	社会
7月	11	同じ小学校でも	C 国際理解、国際親善	外国との つながり	ハワイと日本の小学校の違いについて考えることを通じて、外国との違いや日本とのつながりに気づき、外国に親しみを感じ、もっと知りたいという意欲を育てる。	○外国の小学校のことを知っていますか。 ○「ぼく」は、「日本の学校はきょうしよく当番やそうじ当番があって、さいしょ、びつくりしたよ。」というレンクんの言葉を聞いて、どんなことを考えたのでしょうか。 ○同じ小学校でも他の国では違うことがわかり、びつくりした「ぼく」は、どんなことを考えたのでしょうか。 ○違いとつながりの両方があることがわかって、「ぼく」はどんなことを考えたのでしょうか。 ○外国の学校について、もっと知りたいことを話し合ってみよう。 ○教師が海外に行ったときの体験や外国の方々と接した体験、あるいはALTやゲストティーチャーの話聞かせる。	☆日本と外国には違いもつながりもあることがわかり、さらに知ろうとする意欲が高まったか。(道徳ノート・発言) ☆自分たちの身近なところから、いろいろなつながりや違いに関心をもちようとしたか。(発言)	外国語活動 総合
	12	ごめんね、 サルビアさん	D 自然愛護	花の気持ちに なっている	動植物の気持ちを想像して心を込めて世話をすることのうれしさや喜びに気づき、身近な自然や動植物を大切にしようとする態度を育てる。	○どんなことを考えながら、動物や植物の世話をしていますか。 ○5月にサルビアの苗を植えたとき、「たいせつに育てよう。」と決心した「わたし」の気持ちは、6月、7月とどのように変わりましたか。また、それはどのような気持ちからだと思いますか。 ○「花の気持ちになって」とお母さんに注意されて気づいた「大切なこと」とは、何でしょうか。 ○元気を取り戻したサルビアを見ながら、「わたし」はどんなことを思っているのでしょうか。 ○動物や植物の世話をするとき大切にしたいことは、どんなことでしょうか。 ○今日学習をしてわかった大切なことを、これからの生活で生かしていきたいと思います。	☆動植物の気持ちを想像して、心を込めて世話をすることの大切さについて考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆身近な動植物を大切にすることはどのような気持ちが必要か、具体的に考えようとしたか。(道徳ノート・発言)	理科
8月	13	学級しようかい	C よりよい学校生活、 集団生活の充実	すばらしい 学級をめざして	学級のすばらしさはみんなで協力して作っていくものであることに気づき、みんなで協力し合って自分たちの学級をよりよくしていこうとする意欲を育てる。	○よい学級とは、どんな学級なのか考えよう。 ○3年2組のみんなが、学級紹介をするのに長縄跳びを選んだのは、どんなところを見てほしかったからでしょうか。 ○練習のときから何度も撮影に来てくれた放送委員会のお兄さんお姉さんは、みんなの練習をどんな思いで見守ってくれていたのでしょうか。 ○「すばらしい学級」の放送を見ながら、みんなはどんなことに気づいていったのでしょうか。 ○自分の学級を紹介するときに、どんなところを紹介したいですか。 ○教師が小学生のとき、男女関係なくみんなで協力できたという経験をお話す。	☆みんなが一つになって頑張る3年2組のすばらしさについて考えているか。(道徳ノート・発言) ☆自分たちの学級のよさに目を向けて、協力し合ってよりよい学級を作ろうとする気持ちを高めているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)
	13	学級しようかい	C よりよい学校生活、 集団生活の充実	すばらしい 学級をめざして	学級のすばらしさはみんなで協力して作っていくものであることに気づき、みんなで協力し合って自分たちの学級をよりよくしていこうとする意欲を育てる。	○よい学級とは、どんな学級なのか考えよう。 ○3年2組のみんなが、学級紹介をするのに長縄跳びを選んだのは、どうしてでしょうか。 ○長縄跳びの練習をしているとき、学級のみんなは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○「すばらしい学級」の放送を見ながら、みんなはどんな気持ちになったのでしょうか。 ○自分の学級のよいところをもっと伸ばすには、どんなことを考えていけばいいのでしょうか。 ○教師が小学生のとき、男女関係なくみんなで協力できたという経験をお話す。	☆みんなが一つになって頑張る3年2組のすばらしさについて考えているか。(発言) ☆自分たちの学級のよさに目を向けて、協力し合ってよりよい学級を作ろうとする気持ちを高めているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)

令和6年度版「小学どうとく 生きる力」年間指導計画案3年

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	評価の視点 (具体的な見取りのポイント)	他教科等との関連
9月	14 王様のサンドイッチ	B 感謝	かんしゃの気持ち	毎日の食事のような当たり前の生活の中に、実は多くの人のお世話があることを理解し、感謝の気持ちをもって生活しようとする態度を育てる。	○当たり前すぎて、私たちが感謝するのを忘れていたことには、どんなことがあるでしょう。 ○王様がいつでもサンドイッチを作らせたり、同じサンドイッチを出さないように命令したりしてもいいと思っていたのは、サンドイッチ作りをどのように考えていたからでしょう。 ○王様は、サンドイッチができるまでの様子を見ながら、どんなことを考えていたでしょう。 ○ごく普通のたまたごサンドイッチを、王様はどんなことを考えながら、一口一口、味わって食べたのでしょうか。 ○毎日の生活の中で、どのようなことに感謝したいと思いますか。 ○児童と教師が世話になっている人について話す。	☆今の自分の生活は、多くの人々に支えられ成り立っていることに気づいたか。(道徳ノート・発言) ☆生活を支える人々への感謝の気持ちを高めているか。(道徳ノート・発言)	
	15 うまくなりたけれど	A 希望と勇気、努力と強い意志	やろうと決めたことだから	苦しいことでも、もっとよくなりたいという気持ちが努力や上達につながっていくことを理解し、何事も最後まで粘り強くやり抜こうとする態度を育てる。	○頑張ろうと思っても、途中で諦めてしまったことはありますか。 ○書写の時間が嫌いになっていったゆきさんの気持ちを考えてみましょう。 ○先生の秘密を知って、ゆきさんはどう思ったでしょう。 ○お手本のように書けなかったのに、嫌な気持ちにならなかったゆきさんには、どんな気持ちが芽生えたのでしょうか。 ○頑張る気持ちを続けるには、どんな考えが必要でしょう。 ○教師自身が苦しいことに粘り強く取り組んだ結果、克服できた体験や、そのときの気持ちを話す。	☆習字の時間が始まったときと、先生の話を聞いたあとの苦しいことに対するゆきさんの気持ちの変化について共感しながら、ゆきさんの気持ちを考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆頑張る気持ちを続けるために必要なことについて、具体的に考えようとしているか。(発言)	国語
	16 あの日のこと	D 生命の尊さ	命をたいせつに思う人	たった一つの自分の命は、自分一人のものではなく、多くの人にとっても大切なものであることを理解し、生命を粗末にせず、大切にしようとするための判断力を育てる。	○命は、どうして大切なのでしょう。 ○お母さんとお父さんは、どんな思いで、「ぼく」を抱きしめたのでしょうか。 ○集まってきた人たちが「よかった。」と喜ぶのを見て、「ぼく」が気づいたことは何でしょう。 ○「ぼく」が、たけしに「やっぱりやめよう。いつもの道から行こうよ。」と言ったのは、どんなことを考えたからでしょう。 ○命は、どうして大切なのでしょう。 ○命を大切にしたいという思いの児童作文を紹介する。	☆命の大切さを、命の有限性や横のつながりから考えようとしているか。(道徳ノート・発言) ☆自分の命について、それを大切に思っている人たちのことを想像し、大切にしようとする思いを高めているか。(道徳ノート・発言)	
10月	17 お母さんの「ふふふ」	A 個性の伸長	わたしのいいところ	自分のよいところはなかなか気づきにくい、みんなによいところがあり、伸ばしていけることに気づき、自分のよいところを積極的に伸ばそうとする意欲を育てる。	○友達の良いところを一つ思い浮かべましょう。また、自分の「いいところ」を一つ思い浮かべましょう。 ○加藤さんが「いいところみつつけ」に出てこない気づいた「わたし」は、どう思ったのでしょうか。 ○加藤さんに「うれしい。」と言われた「わたし」は、どう思ったのでしょうか。 ○お母さんの「ふふふ」を聞いて、「わたし」はどんなことを考えたのでしょうか。 ○誰にも必ず「いいところ」があります。お互いの「いいところ」を理由もつけて出し合ってみましょう。 ○教師自身の長所について話す。	☆「わたし」の思いを考える活動を通して、人それぞれよさがあることを考えようとしているか。(道徳ノート・発言) ☆多くの友達の良いところを見つけてようとしているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)
	18 同じなかまだから	C 公正、公平、社会正義	みんななかま	自分の気に入る友達だけでなく、他の友達もみんな同じ一つの集団の中にあることや、仲間外れはみんなの問題であることを理解し、誰に対しても公平に接しようとするための判断力を育てる。	○誰かが、友達と自分に対する接し方を変えたら、どんな気持ちになりますか。 ○ひろしに「ともちゃん、どう思う。」と聞かれはつきり答えなかったときのとも子は、どんなことを思っていたのでしょうか。 ○とも子の「同じ2組のなかまじゃない。」という言葉には、どんな思いが込められているのでしょうか。 ○「うん。がんばる。」という光夫の元気な返事を聞いたとも子は、どんなことを思ったのでしょうか。 ○どの人も大切にするために気をつけたいのは、どんなことでしょうか。 ○教師が、誰に対しても公平に接している人の話をします。	☆とも子の思いを考えることを通して、みんな同じ一つの集団にいる仲間として公平に接することの大切さについて、考えを深めているか。(発言) ☆相手によって態度を変えないことの大切さを感じ、そのために必要なことについて考えを深めているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学校行事)
	19 たからさがし	A 善悪の判断、自律、自由と責任	やっぱり、やめよう	弱い心に負けず、強い心を発揮することが、やってよかったという自信になることに気づき、正しいと判断したことを自信をもって行おうとする心情を育てる。	○友達がよくないことをしようとしているとき、どんな気持ちになりますか。 ○「やめたほうがいい」と言ったとき、「ぼく」はどんなことを考えたのでしょうか。 ○それ以上言えなくなった「ぼく」の気持ちを考えましょう。 ○「もしあげ方がまちがっているよ。」と言ったとき、「ぼく」にはどんな思いがあったのでしょうか。 ○友達に「やっぱり、やめよう。」と言うとき、どんな考えが大切でしょう。 ○自分が正しいと思ったことを行い、すがすがしい気持ちになったという教師の経験話を話す。	☆やめようと言ったときのことを思い出して、弱い心に負けず、強い心を発揮することが、やってよかったという自信になることを考えたか。(道徳ノート・発言) ☆正しい判断を伝えることで、友達にも迷惑を掛けず、自分も後悔せずにいられることに気づいたか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)
	20 バスの中で	B 親切、思いやり	親切にする心	困っている人がいたら、相手の気持ちを考え、もし自分だったらこうしてほしいと思うことをすることが思いやりであることを理解し、進んで親切にしようとする態度を育てる。	○誰かに親切にしてもらったとき、どんな気持ちになりましたか。 ○おばあさんに席を譲ってあげようと思ってもなかなか声を掛けられなかった「わたし」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○心の中の争いを終わらせたのは、「わたし」のどんな思いでしょう。 ○おばあさんに席を譲り、「ありがとう」と言われたとき、「わたし」はどんな気持ちだったのでしょうか。 ○誰かに親切にできたことを出し合い、そのときの気持ちを話し合ってみましょう。 ○相手の気持ちを考え、親切な行動を自ら進んで行うことができたときの教師の体験話を話す。	☆相手の気持ちを考え、親切な行動を選んだときの気持ちを考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆相手の気持ちを考え、親切にした経験を振り返り、これからも親切にしようとする意欲を高めているか。(道徳ノート)	特活 (学級活動)
	21 お母さんのせいきゅう書	C 家族愛、家庭生活の充実	家族だから	家族はそれぞれが家族のために自分ができることをしようとしていることに気づき、家族の一員として、進んで楽しい家庭を作ろうとする心情を育てる。	○家の中の仕事にはどんなものがあるか、思い出してみましょう。 ○それらの仕事は誰がしていますか。 ○あなたはどの仕事をしていますか。 ○請求書を書いたお母さんの考えの違いは、どんなところでしょうか。 ○二つの請求書を比べて、だいたい足りなかった考え方は何でしょうか。 ○お母さんからの請求書を読んだお母さんの目、涙でいっぱいになったのはどうしてでしょうか。 ○家族が自分のことを思ってくれていることに、どんなものがあるか、考えてみましょう。 ○今日の学習で、自分がわかったことや気づいたこと、自分自身があらためて思ったことを書きましよう。 【参考指導案】 ○お手伝いをして、おこづかいをもらったこと(褒められたこと)はありますか。 ○お手伝いをしたら褒められるのは、なぜでしょう。 ○だいたいは、請求書をどんな気持ちで書いているのでしょうか。 ○400円が置いてあるのを見つけたお母さんは、どんなことを思ったのでしょうか。 ○お母さんは、どんなことを考えながら0円の請求書を書いたのでしょうか。 ○0円と書くことでお母さんにどんなことに気づいてほしかったのでしょうか。 ○だいたいの目が涙でいっぱいになるのを見て、お母さんはどんな気持ちになったのでしょうか。 ○家族の一員として、自分にできることを考えてみましょう。 ○家族からの手紙を読みましょう。 ○今日の学習で感じたこと、思ったことを書きましよう。	☆だいたいの涙の意味を家の仕事に対する自分の考えの至らなさを反省と、お母さんに請求書を送ってよかったことへの後悔から捉えることができたか。(発言) ☆家族が自分のことを思ってくれていることがわかる行為や心の状態を想起できているか。(道徳ノート)	
11月	22 みんなのわき水	C 規則の尊重	みんなのために	みんなで使う場所を大切にすることが、そこを使う人々の心地よさにつながることを理解し、公共のために進んで尽くそうとする意欲を育てる。	○「みんなで使う○○」の○○には、どんな言葉が入るのでしょうか。 ○湧き水のところにたくさんのお葉が落ちているのを見たとき、こうちゃんたちはどんなことを考えたのでしょうか。 ○「ご自由にお使いください。」と書いてある札を見たとき、こうちゃんたちはどんなことを考えたのでしょうか。 ○きれいな湧き水を飲む親子を見て、こうちゃんたちはどんなことを思ったのでしょうか。 ○みんなが使う場所や物は、誰がそれを大切にしたらいいのでしょうか。 ○進んでみんなの物や場所をきれいにしている人を見たときの教師の思いを語る。	☆みんなで使う場所はみんなできれいにすることの大切さについて考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆誰かがやらなければならないから自分がするということの大切さについて考えようとしたか。(道徳ノート)	
	23 まどガラスと魚	A 正直、誠実	自分に正直に	自分の心の中にある正直さを偽らず素直であることの快適さに気づき、正直に明るい心で元々よく生活しようとする態度を育てる。	○キャッチボールをしていて、よその家の窓を割ってしまいました。どうしますか。 ○窓ガラスを割ってから数日間の、千一郎の心の中は、どのような様子だったのでしょうか。 ○あれだけ正直になれなかった千一郎が、本当のことを言おうと思ったわけを考えてみましょう。 ○正直にすることは、どうして大切なのでしょう。 ○過ちを素直に認め、正直に行動してよかったことを発表しましょう。どんなことを考えて、正直に行動したのでしょうか。 ○自分の心に正直にできたから明るい心でのびのびとした生活を送ることができた教師の体験話を話す。	☆正直に行動する前後の千一郎の気持ちの変化から、弱い心に負けず、正直にしていることの大切さに気づくことができたか。(道徳ノート・発言) ☆正直に明るい心で元々よく生活しようとする気持ちを高めているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)
	24 水族館ではたらく	C 勤労、公共の精神	仕事のやりがい	どの仕事にもたいへんなことはあるが、それを大切だと思って働くことで、みんなの役に立ち、自分もその仕事が好きになることに気づき、進んでみんなのために働くこととする心情を育てる。	○仕事をするには、楽しいことだけではいけませんか。 ○加登岡さんが、水族館の仕事でたいへんだ、難しいと感じるのは、どんなときでしょう。また、どうしてそう思うのでしょうか。 ○加登岡さんは、どのような思いで仕事をしているのでしょうか。 ○どの仕事にも懸命に取り組む加登岡さんは、どんな気持ちで過ごしているのでしょうか。 ○仕事をして、たいへんだけれど、みんなの役に立って楽しかったというやりがいを感じたときのことを思い出してみましょう。 ○加登岡さんが水族館の仕事を目指すまでのことについて、生き生きと話す姿を視聴する。	☆たいへんな仕事にも意味があり、どの仕事に対しても進んで働くことでやりがいを感じられることを感じ取っているか。(道徳ノート・発言) ☆どの仕事に対しても進んで働くことで、自分や仲間、周囲の人々の生活がより豊かになることや、やりがいにつながることに気づいているか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)
12月	25 れいぎ正しい人	B 礼儀	真心をもって	「礼儀正しい人」は、挨拶の言葉や行いでもあるが、挨拶がなくとも、真心を込めた対応の仕方でもあることに気づき、誰に対しても心を込めて接しようとする態度を育てる。	○礼儀やエチケットという言葉を知っていますか。 ○校長先生の話聞いたまさおは、「礼儀正しい人」をどんな人だと思ったのでしょうか。 ○スーパーの出口で、若い男の人が自分が開けたドアを持ってきていたとき、まさおはどんなことを思ったのでしょうか。 ○お父さんは、まさおにどんなことを教えたのでしょうか。 ○次の日、先生に褒められたまさおは、どんなことを考えたのでしょうか。 ○礼儀正しくできたことを思い出してみましょう。そのとき、あなたはどんなことを思って、接していましたか。 ○教師が、礼儀正しい行いをしてすがすがしい気持ちになったという経験を話す。 【参考指導案】 ○「礼儀」はどうして大切だと思いますか。 ○スーパーでドアを持ってきた男の人を「礼儀正しい人」だとまさおが思わなかったのは、なぜでしょう。 ○昨日の職員室でのまさおのうれしさと、今日のうれしさとの違いについて考えてみましょう。 ○「礼儀正しい人」とはどんな人のことだと、あなたは考えますか。 ○あなたは、これからどんな「礼儀正しい人」を發揮していきたいですか。これまでに振り返り、考えてみましょう。 ○教師が、礼儀正しい行いを見て、すがすがしい気持ちになった経験を話す。	☆心のこもった対応をしようとするまさおの気持ちを理解したか。(道徳ノート・発言) ☆心を込めた礼儀を実践することへの見通しをもったか。(道徳ノート・発言)	
						☆心のこもった対応をしようとするまさおの気持ちを理解したか。(道徳ノート・発言) ☆心を込めた礼儀を実践することへの見通しをもったか。(道徳ノート・発言)	

令和6年度版「小学どうとく 生きる力」年間指導計画案3年

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	評価の視点 (具体的な見取りのポイント)	他教科等との関連
1月	26 ぼくを動かすコントローラー	A 節度、節制	よく考えて行動する	自分のことを自分できちんとコントロールしたいと願っている自分に気づき、自ら考えて度を過ぎない節度のある生活をしようとする心情を育てる。	○ついつい、やり過ぎてしまうことはありませんか。 ○心配しているおばあちゃんに、「だじょうぶ、だじょうぶ。」と言って家を飛び出したけんたは、どんな気持ちだったでしょう。 ○病院でおばあちゃんがおかだ先生に頭を下げて謝っている姿を見たけんたは、どんな気持ちだったでしょう。 ○「けんたくんを動かすコントローラーは、けんたくんがにぎっている」と言われて、けんたはどんなことを考えたでしょう。 ○生活の中で、自分のコントローラーをうまく使えた経験を思い出してみよう。どのように考えながら使いましたか。 ○作文や新聞記事の体験談から、身近なことの中に自分で考えて行動する場面がたくさん隠れていることを発見させる。	☆規則正しい生活をするためには、自分で判断していかねばならないことについて考えているか。(発言) ☆よく考えて行動し、規則正しい生活を送ることの大切さについて考えているか。(道徳ノート・発言)	
	27 いちばんうれしいこと	B 親切、思いやり	思いやりの心	思いやりの心は相手の気持ちを自分のことのように考えようとするところから生まれていることと喜びに気づき、自分も思いやりの心を発揮していこうとする心情を育てる。	○みなさんがうれしいのは、どんなときでしょう。 ○「人は人をよろこばせることがいちばんうれしい」というやなせさんの思いとは、どのようなものなのでしょう。 ・人を喜ばせたとき、あなたはどんな気持ちになりますか。 ・反対に人を悲しませたときはどうですか。 ○あなたは、どんなことで人を喜ばせたいですか。 ○「アンパンマーチ」を歌詞の意味を考えながら聴きましょう。	☆やなせさんの言葉の意味について考え、相手の喜びを自分のことのように考える思いやりの心について考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆相手も喜んでくれるような思いやりのある行動を進んでしようという思いを高めているか。(道徳ノート)	
	28 助かった命	D 生命の尊さ	かけがえない命	生命はいかなる状況にあってもかけがえないものであり、みんなで守ろうとしていることに気づき、生命を大切にしようとする心情を育てる。	○大地震について、聞いたことがありますか。 ○避難しているとき、つとむはどんなことを考えていたのでしょうか。 ○お父さんが助けに行くとつとむは、つとむはどんなことを思ったのでしょうか。 ○額に汗がにじんで、体中泥だらけのお父さんとお兄さんを見て、つとむはどんなことを思ったのでしょうか。 ○かけがえない命をどのように守っていくか、考えてみましょう。 ○教師自身の生命尊重に対する思いを、体験をもとに語る。	☆生命のかけがえのなさを感じ取るのと同時に、生きているものすべての生命の尊さについても考えを深めようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆今後、どのような考えや思いをもって大切な、かけがえない生命を守っていくか、自分なりに考えようとしていたか。(発言)	
29 ぼくのボールだ	C 公正、公平、社会正義	みんなが楽しく	みんなが楽しく過ごすためには、一人一人の思いや願いをみんなで大切にしなければならぬことを理解し、誰に対しても公平に接しようとする態度を育てる。	○みんなが楽しく過ごすために気をつけることを考えよう。 ○ドッジボールはどんなところが楽しいのでしょうか。 ○たかしくんに、「いやだ。ぼくのボールだ。ぼくが投げたいから取りに行つたんだ。」と言われたとき、「ぼく」は、どんなことを思っていたのでしょうか。 ○どういふ点が「間違っている」と思えるのか、その理由とともに話し合ってみよう。 ○みんなが楽しく過ごすために考えなければならないことは、どんなことでしょうか。 ○今日の学習で考えたことや思ったことを発表しましょう。	☆勝つためには、強い子にボールを投げてもらおうというのも一つの作戦だが、それは、一人一人の思いを大切にしたいという思いでなければならぬことに気づいて、どうすべきだったかを考えたか。(道徳ノート・発言) ☆みんなが楽しく過ごすためにどのような思いが大切かを自分の体験を振り返りながら考えたか。(道徳ノート)	体育 特活 (学級活動)	
2月	30 これ、全部東京産	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	わたしたちのきょう土	私たちに、地元のことを大切にしたり、守っていこうとしたりする気持ちがあることを理解し、自分の郷土を大切にしようとする態度を育てる。	○私たちが食べる肉や野菜は、どこから運ばれてくるのでしょうか。 ○今の東京では作りづらくなった野菜を、あえてそのまま作り続けるのは、どんな思いがあったからでしょう。 ○店長さんが、東京の味を守り続けようとしている思いとは、どのようなものでしょうか。 ・東京産の野菜を使わなければ、おいしい料理はできないのでしょうか。 ○地域には、それぞれ大切にしているものがあります。あなたの地域には、どんなものがありますか。 ○自分たちの地域で作られている郷土野菜や伝統工芸品、特産品の写真を紹介する。 【参考指導案】 ○地域には、それぞれ大切にしているものがあります。あなたの地域には、どんなものがありますか。 ○地域に残る古いものを受け継ぎ守っている方、江戸東京野菜を作り続けている農家の方、もんじゃ焼き屋の店長は、どんな思いでそれぞれのものを守っているのでしょうか。 ○三者に共通するのはどんな思いでしょうか。 ○あなたも地域の一員です。地域で大事にされてきたものをどのように受け継ぎ、守っていきたいですか。 ○本時の学習内容を振り返り、今後の学習への見通しをもつ。	☆地元のことを大切にしたり、守っていこうとしたりする気持ちについて考えているか。(道徳ノート・発言) ☆自分の中にある、自分の郷土を大切にしようとする気持ちについて考えようとしているか。(道徳ノート・発言)	社会
	31 いつもありがとう	B 感謝	つたえたい言葉	自分が気づいていないけれど、自分の生活はたくさんの人たちの努力とお世話によって成り立っていることを理解し、尊敬と感謝の気持ちをもとうとする心情を育てる。	○家族以外に、お世話になっている人はいますか。 ○掃り道、いらいらして石を思い切り蹴って、名物おじいちゃんから注意をされたときの「ぼく」の気持ちを考えよう。 ○家族みんなの話を聞いて、これまでのおじいちゃんのお姿を思い浮かべながら、「ぼく」はどんなことを考えたのでしょうか。 ○伝えたい言葉がたくさん浮かんできたのは、「ぼく」の心の中にどんな気持ちが膨らんできたからでしょう。 ○お世話になっている人に感謝したいことは、どんなことですか。 ○児童が気づいていない、「お世話になっている人」についての話をする。 ○どうすればよいかわかっていないのにできなかったとき、どんな気持ちになりますか。 ○ダブルブッキングをしたことに気づいたとき、太一はどんなことを思ったのでしょうか。 ○お母さんの電話でなややちうにダブルブッキングがわかってしまったとき、太一はどんな気持ちになったのでしょうか。 ○どうすることが正しいかわかっているのに太一がそうできなかったのは、どうしてでしょうか。 ○正しいと思うことをするために、大切なことはどんなことでしょうか。 ○今日の学習から学び、今後自分の生活に生かしていこうという思いをまとめよう。	☆おじいちゃんに対する尊敬と感謝の気持ちの膨らみを考えることができたか。(道徳ノート・発言) ☆尊敬と感謝の気持ちをしっかりと伝えようという気持ちをもつことができたか。(道徳ノート)	社会
	32 ダブルブッキング	A 善悪の判断、自律、自由と責任	正しいと考えたことを	よいとわかっていることなのにできないのは、人に左右され、自分の弱さから逃げていることに気づき、正しいと考えたことを自信をもって行おうとするための判断力を育てる。	○ダブルブッキングをしたことに気づいたとき、太一はどんなことを思ったのでしょうか。 ○お母さんの電話でなややちうにダブルブッキングがわかってしまったとき、太一はどんな気持ちになったのでしょうか。 ○どうすることが正しいかわかっているのに太一がそうできなかったのは、どうしてでしょうか。 ○正しいと思うことをするために、大切なことはどんなことでしょうか。 ○今日の学習から学び、今後自分の生活に生かしていこうという思いをまとめよう。	☆自分がどうすればよいかわかっていないことからは逃げずに実行することが、自分の気持ちをいばんすつきりさせることになることについて考えようとしたか。(発言) ☆正しいと思うことを実行しようとする意欲を高めているか。(道徳ノート・発言)	
33 たつきゅうは四人まで	B 友情、信頼	友だちの気持ちになって	友達は、一方的に自分の思いだけで接するのではなく、お互いに相手の気持ちを理解し、大切にしようとして仲が深まっていくことを理解し、友達と互いに信頼し、助け合おうとする心情を育てる。	○友達と仲よくするためには、どのようなことに気をつけたいと思いますか。 ○とおるを断ったときのしゅんは、どのような思いだったのでしょうか。 ○四人で卓球をしたしゅんが、あまり楽しめなかったのは、どんな思いがあったからでしょう。 ○しゅんたちは、校門でとおるを待っているとき、どのような思いだったのでしょうか。 ○友達と仲よくするために、今日学んだことをどのように生かせるでしょうか。 ○教師がこれまでに友達とよりよい関係を築けずに感じたことを話す。	☆しゅんの行為を振り返り、友達とよりよい関係を築くことの大切さについて考えているか。(道徳ノート・発言) ☆身近な出来事を題材にし、仲よくするために大切なことを、今後の友達との生活に生かそうとしているか。(発言)		
3月	34 ジュースの空きかん	C 規則の尊重	気持ちよく生活するために	誰もが、みんなで使う場所をきれいに使いたいという気持ちを大切にすることで、みんなが気持ちよく生活できることに気づき、それを実行していこうとする意欲を育てる。	○電車やバスに乗っていて、嫌な気持ちになったことはありませんか。 ○高校生ぐらいの男の人がジュースの空き缶を置いて降りていったのを見たとき、あつしはどう思ったのでしょうか。 ○転がってきた空き缶を拾おうとせず、あつしが足で蹴ったのは、どのような気持ちからでしょう。 ○女の子がゴミ箱に空き缶を捨てるのを見て、あつしは、どのようなことを思ったのでしょうか。 ○みんなが気持ちよく生活するためには、どのような考えが大切なのでしょう。 ○マナーを守って行動したことにより、気持ちよく生活することができた体験を話す。	☆みんなで使う場所をきれいに使いたいという気持ちを自分ごととして考えていたか。(発言) ☆きまりを守ることの大切さについて、自分との関わりの中で考えていたか。(道徳ノート)	特活 (学級活動)
	35 光の星	D 感動、畏敬の念	美しい心	私たちに、心の美しさをわかる心があることや、心の美しさは、姿や形の美しさに勝ることに気づき、美しいものや気高いものに感動する心情を育てる。	○星たちの不思議な話を読んでみましょう。 ○「よしておきなさい。」と言った赤と青の二つの星は、どんな気持ちだったのでしょうか。 ○かささぎを洗おうとした三つめの星の思いを考えてみましょう。 ○三つめの星のどんな心が、金色に光り輝いたのでしょうか。 ○美しい心のお話をみんなに紹介してみましょう。 ○教師がこれまでに感動した人の心の美しさについての話をする。	☆三つめの星の心の美しさを多面的なところから味わっていたか。(道徳ノート・発言) ☆美しい心の話を紹介したいという意欲をもっていたか。(発言・観察)	国語
ふろく	① がんばれ友ちゃん	A 希望と勇気、努力と強い意志	やろうと決めたことは	自分でやろうと決めたことは、最後まで続けることでやればできるという喜びや自信が生まれることに気づき、自分でやろうと決めた目標に向かって、粘り強くやり抜こうとする態度を育てる。	○自分がやろうと決めて、頑張っていることがありますか。 ○何度やっても逆上がりができず、泣きそうな顔をしてしまった友ちゃんは、どんな気持ちになっていたのでしょうか。 ○「あなたのできるわざで上がればいいのよ。」と先生に言われたとき、友ちゃんはどんな気持ちになったのでしょうか。 ○どんな思いで、友ちゃんは練習を続けたのでしょうか。 ○頑張ってやり通したとき、どんな気持ちになりましたか。また、それをこれからどんなふうにかしたいですか。 ○今日の学習で学んだこと、感じたこと、考えたことをまとめよう。	☆頑張っているために、何が大切なのか考えることができたか。(道徳ノート・発言) ☆自分が頑張った経験を思い出して、もっとよくなるようという思いを高めていたか。(発言)	体育
	② なんにも仙人	C 勤労、公共の精神	はたらくよるこび	働くことには、遊んでばかりいるのとは異なるおもしろさや、喜びがあることに気づき、進んでみんなのためになる仕事をしようという意欲を育てる。	○働くことがおもしろいって、どういうことでしょうか。 ○一日中遊んでばかりの毎日を送っていたときの太助は、どんな気持ちだったのでしょうか。 ○近所のおじいさんに、「てつだってみな。」と言われた太助は、どんなことを思っていたのでしょうか。 ○太助はどんなことを考えて、いよいよせせと働いたのでしょうか。 ○みんなのためにしていることには、どんなことがありますか。そのとき、どんな気持ちで働いていますか。 ○児童の働いている様子の画像を映して見せる。	☆太助が感じた働くことのよさとはどんなことかを考えようとしたか。(道徳ノート・発言) ☆身の回りの仕事に目を向けることで、それらの仕事で、たくさんの人に感謝されていることを考え、これからは進んで働いていきたいという思いを高めていたか。(道徳ノート・発言)	特活 (学級活動)
	③ どんどん橋のできごと	A 節度、節制	よく考えて	人に左右されることなく、自ら正しいと信じているところから行動することが、自分の弱さに負けないことであることに気づき、よく考えて行動するための判断力を育てる。	○「○○が言ったから……。」は、どんなときに使うでしょうか。 ○まことくんが自分の傘を入れるのを見ている「ぼく」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○正くんが「ぼくはいやだ。」と断つたのを聞いた「ぼく」は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○「ぼく」が傘を入れることにした本当の理由は何でしょうか。 ○ボロボロになった傘を見て、涙をためた「ぼく」が考えたことは何でしょうか。 ○自分でしっかり決めないで行動してしまうことの問題は、何でしょうか。 ○教師の体験から、よく考えて行動することの大切さについて話をする。	☆よく考えて行動しなかった「ぼく」の後悔する気持ちから、よく考えて自分の行いを決めようとする大切さについて気づいたか。(道徳ノート・発言) ☆節度ある生活をするために大切なことは、すべて自分のためになることに気づいたか。(道徳ノート・発言)	